

2019 日の出町だより Vol.63
HINODE TOWN DAYORI



冬の夜を彩る☆大久野イルミネーション

大久野イルミネーションは、地元の有志による実行委員会が主催するイベントで、大久野地区の冬を彩る風物詩として親しまれています。秋川街道沿い萱窪交差点から太平洋マテリアル(株)ミネラルファイバー工場前までの街路樹にイルミネーションが灯されるほか、こども未来公園には高さ12mのシンボルツリーが、大久野小学校正門前には長さ15mの光のアーチがお目見え、イルミネーションに花を添えます。また、沿道の家々も色鮮やかなイルミネーションで飾られ、暗かった真冬の夜道を明るく照らします。イベント期間中には、大久野小学校の体育館でクリスマスイベントも開催されます。体育館前には地域の方々による模擬店が並び、ステージでは演奏やダンスなどが披露されます。また、クリスマスイベントのクライマックスには、小学校の校庭から冬の透き通る空に花火が打ち上げられます。



大久野小学校
正門前アーチ

❁大久野イルミネーション2019 11月23日(土)～12月31日(火)
午後5時00分～午後10時00分

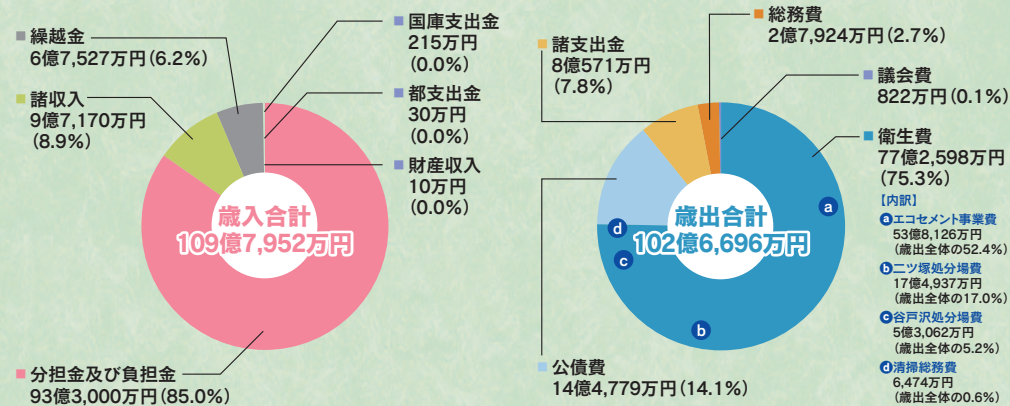
❁クリスマス・フェスティバル 12月22日(日)午後1時30分
大久野小学校(体育館)

問合せ 大久野イルミネーション実行委員会 宮田和樹 ☎090-7256-5368

循環組合からのご報告

平成30年度決算

決算額は、歳入が109億7,952万円(前年度比約4.5%増)、歳出が102億6,696万円(前年比約4.4%増)となりました。平成30年度は、エコセメント事業費が原油価格の影響などにより、増加しました。決算の概要はホームページでも公表しています。



循環組合の動き

| 令和元年 | 内容 |
|------------|----------------------|
| 6月 7日(金) | 第41回循環組合技術委員会 |
| 6月 18日(火) | 第45回谷戸沢処分場環境保全調査委員会 |
| 6月 27日(木) | 令和元年第3回正副管理者会議 |
| 7月 8日(月) | 第22自治会ニッ塚処分場対策委員会 |
| 7月 12日(金) | 第3自治会谷戸沢処分場監視委員会 |
| 7月 16日(火) | 令和元年第3回理事会 |
| 7月 17日(水) | 環境データ公表(平成30年度分) |
| 7月 26日(金) | 令和元年第1回議会臨時会 |
| 8月 29日(木) | 第43回谷戸沢処分場環境影響評価委員会 |
| 9月 24日(火) | 第3自治会谷戸沢処分場監視委員会 |
| 9月 25日(水) | 第22自治会ニッ塚処分場対策委員会 |
| 9月 26日(木) | 第39回エコセメント化施設運営連絡会 |
| 9月 30日(月) | 令和元年第4回正副管理者会議 |
| 10月 29日(火) | 環境データ公表(令和元年度第1四半期分) |
| | 令和元年第2回議会定例会 |

議会の報告

循環組合の議員は、組織団体25市1町の議会議員の中から選出されています。

令和元年第1回組合議会臨時会(令和元年7月26日開催)

| 番号 | 件名 | 結果 |
|-------|------------------------------|----|
| 議案第5号 | 監査委員(議会選出)の選任につき同意を求めることについて | 同意 |

令和元年第2回組合議会定例会(令和元年10月29日開催)

| 番号 | 件名 | 結果 |
|-------|--|------|
| 議案第6号 | 東京たま広域資源循環組合会計年度任用職員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例 | 原案可決 |
| 議案第7号 | 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 | 原案可決 |
| 議案第8号 | 平成30年度東京たま広域資源循環組合一般会計歳入歳出決算の認定について | 認定 |
| 議案第9号 | 令和元年度東京たま広域資源循環組合一般会計補正予算(第1号) | 原案可決 |
| — | 議員派遣について | 可決 |

10月分 放射性物質の濃度を毎月測定しています。

循環組合では、放射性物質汚染対処特別措置法、日の出町および地元自治会・同対策委員会と締結した特別協定に基づき、エコセメント化施設における放射性物質濃度の測定(月1回)とニッ塚処分場の敷地境界における空間放射線量等の測定(週1回)を行っています。測定結果は毎月ホームページでも公表しています。

エコセメント化施設(10月調査分)

| 放射性セシウム濃度(セシウム134と137の合計) | 検出 | 単位 |
|---------------------------|------|-------------------|
| 乾燥機等排ガス | 不検出 | Bq/m ³ |
| 焼成炉排ガス | 不検出 | Bq/m ³ |
| 金属回収汚泥 | 不検出 | Bq/kg |
| 下水道放流水 | 24.9 | Bq/L |
| エコセメント(製品) | 不検出 | Bq/kg |

環境調査を行い、安全性を確認しています。

ニッ塚処分場(エコセメント化施設を含む)および谷戸沢処分場では、水質や大気などの環境調査を行っています。これらの環境調査は日の出町および地元自治会と締結した公害防止協定等に基づいて定期的に行っているもので、各調査は日の出町の方々の立会いのもとに行っています。平成30年度の調査においても、特段の異常は見られず、処分場が周辺環境に影響を与えていないことが確認されました。調査結果はホームページでも公表しています。

東京たま広域資源循環組合

●住所 〒190-0181東京都西多摩郡日の出町大字大久野7642
●TEL 042-597-6151 FAX 042-597-7886
●Eメール toiwase@tama-junkankumiai.com

ご意見などをお待ちしています。

循環組合では、皆さまのご意見、内容やごみ処理に関するお考えなどをお待ちしています。お手紙、FAX、電子メールのいずれかの方法で、「たまエコニュース」と明記のうえ、左記宛先にお送りください。

処分場の敷地内や周辺の土壌、水質など環境調査の結果をホームページで公表しています。

循環組合 <https://www.tama-junkankumiai.com/>



たまエコニュース
Tama Eco News

<目次>

- 表紙
- 中面
 - ・里山的自然環境の保全に取り組んでいます
 - ・見学会参加者の声
- 裏表紙
- ・インフォメーション

多摩地域
25市1町のごみは

日の出町
最終処分
されています



フクロウのひな

巣箱で営巣したフクロウの子育ての動画と写真をホームページに載せています。



日の出町



ニッ塚処分場

みんなのエコの取り組みも紹介してるよ



エコタロー
「エコタロー」はエコセメント事業のシンボルマークです。

特集
里山的自然環境の保全に取り組んでいます。

東京たま広域資源循環組合は、ニッ塚処分場・谷戸沢処分場を管理・運営している特別地方公共団体で、日の出町の皆さまにご理解とご協力をいただきながら、多摩地域25市1町、約400万人のごみの最終処分を行っています。可燃ごみの焼却灰をセメント(エコセメント)としてリサイクルし、不燃ごみは埋立てをしています。

組織団体
八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、西東京市、瑞穂町

詳しくは中面へ

里山的自然環境の保全に取り組んでいます

谷戸沢処分場では昭和59年から14年間、多摩地域から搬出されるごみの最終処分を行ってきました。開場から本年度で35年目となり、平成10年に埋立は終了しましたが、東京たま広域資源循環組合ではその後も適切な維持管理を継続しています。現在、里山の自然環境の保全に取り組み、以前よりも多くの生き物が暮らすようになりました。



オオムラサキ
里山を代表する生き物であり、日本の国蝶。初夏には美しい羽の成虫を見ることができます。

カヤネズミ
ススキ野原に生息している日本最小のネズミ。草の種子などをエサにしています。

コサナエ
日本固有のトンボで、処分場内で繁殖しています。

フクロウ
生態系の頂点にいる夜行性の鳥類。平成28年から処分場内で営巣が確認されています。

サシバ
渡り鳥(夏鳥)であるサシバは、場内を餌場にしています。

トウキョウサンショウウオ
日の出町の天然記念物。処分場内では産卵池を整備し、保全に取り組んでいます。

モリアオガエル
日の出町の天然記念物。初夏には水辺で鳴き声が聞こえ、卵が見られます。

カイツブリ
夏には背中にヒナを乗せて、泳ぐ姿が見られます。

クサレダマ
150cm近くに成長する大型の植物で、夏に花を見ることができます。

オオムラサキケージ

谷戸沢記念館

グラウンド

サッカー場

平成25年の国体で使用されました

メガソーラー

年間発電量は、約500世帯分の一般家庭の電気使用量に相当

ビオトープ

エコセメント化施設

エコセメントは、JIS規格で普通のセメントと同等の品質が確保されています。焼却灰はセメントを製造する際に用いられる石灰石、粘土等の成分を含んでいるので、原料として利用できます。現在、稼働しているエコセメント化施設としては世界で唯一となります。

資源循環型社会づくりの先端に立つ処分場

二ツ塚処分場は平成10年からごみの搬入が始まりました。可燃ごみの焼却灰は平成18年に稼働したエコセメント化施設で全てリサイクルされています。なお、平成30年度の不燃ごみの搬入・埋立はありませんでした。



2019年8月撮影

エコセメント事業の意義

エコセメント事業の3つの目的を推進することにより、循環型社会の実現を目指します。

- 1 多摩地域のリサイクルをさらに進めます。
- 2 二ツ塚処分場を長く有効に活用します。
- 3 安全な埋立対策をさらに進めます。

event report

オオムラサキ放蝶会・見学会



6月20日には、日の出町立平井小学校の6年生を招いて、オオムラサキ放蝶会を開催しました。22日に開催した見学会には、雨の中約700名の方々が来場し、幼虫やさなぎ、成虫を観察しました。



オオムラサキの幼虫

8/2・9・16 夏休み処分場見学会

毎年恒例の夏休み処分場見学会を開催しました。谷戸沢処分場では、地元ボランティアの環境指導員の方から処分場の歴史や自然の再生状況などについて解説をしていただきました。



稲川さん親子
Q.処分場見学会に参加してどうでしたか？
A.日の出町の皆さんに感謝したいです。多摩地域25市1町のゴミを引き受けてくださっている日の出町の皆さんには感謝しかありません。二ツ塚処分場が溢れたら次の土地を探さなければならぬので、一人ひとりの努力が必要だと痛感しました。

見学会参加の皆さんに聞きました ~エコの取り組みも~

細田さん親子
Q.ごみを減らすための工夫を教えてください！
A.家族みんなで、楽しみながらリサイクルしています。娘たちの洋服はリサイクルショップを利用することが多いです。また牛乳パックで椅子を作ったり、ペットボトルで鉛筆立てを作ったり、楽しみながらごみを減らす工夫をしています。



長島さん親子
Q.これから取り組みたいエコ活動は？
A.分別も大事ですが、ごみを出さない工夫も必要ですね。書類をまとめるときは針なしホッチキスを使っていますが、今後できるだけエコな商品を選ぶようにしていきたいです。



エコタロー